



1/11

### 決意も新たに晴れの門出 ▼平成21年成人式

# か め め スポット CAMERA SPOT

市ホームページでは、行事・イベントをいち早くお届けする「どれたてカメラすぽっと」を開設しています。トップページからバナーをクリックしてください。

新成人1,049人の門出を祝う成人式が市民会館で開催され、会場では再会の喜びを写真に納めたり、メールを交換する新成人の皆さんたちの笑顔であふれていました。

今回は初めての試みとして、来年成人式を迎える人がスタッフとして受付や式典の司会を手伝いました。式典では、「新成人の誓い」や「新成人の主張」が堂々と発表され、大人の門出に決意を新たにしていました。(詳しくは5ページに掲載)

消防署や各消防団など消防活動に携わる関係団体900人が参加して、年始め恒例の消防出初式が市民会館で行われました。式典では、消防活動に功績があった人や団体などを表彰したあと、場所を屋外に移し、「火の用心」のはっぴを着た幼年消防クラブの子どもたちを先頭に分列行進が勇壮に行われ、最後は大上戸川・金丸橋付近に各分団の消防車が出勤し、一年間の無火災を願って空高く一斉放水しました。



1/8

### 地域の安全・安心を願って冬の味覚を堪能 ▼消防出初式



1/11

### 県境を越えたマラソン大会 ▼第19回萱瀬新春こどもロードレース大会

萱瀬地区健全育成協議会が行う学年別のマラソン大会が萱瀬中学校周辺コースで開催されました。今年は、地元萱瀬小・中学校と黒木小学校に加えて、椿の森学園や佐賀県からは鹿島市の能古見小学校や西部中学校の児童・生徒も参加し、小雪の舞う寒い中を総勢217人が元気に健脚を競いました。



1/11

### 第5回カキまつり ▼第5回カキまつり

白島沖で養殖されたカキを広く知ってもらおうと、馬場先波止で5回目を迎えるカキまつりが行われました。小雪が舞う初日は500人程が訪れ、カキ焼きコーナーでは、買い求めた新鮮なカキやホタテなどをおいしそうに焼いて食べていました。同会場では、2月22日までの毎週日曜日、カキなどの直売とカキ焼きを楽しむことができます。

12/6

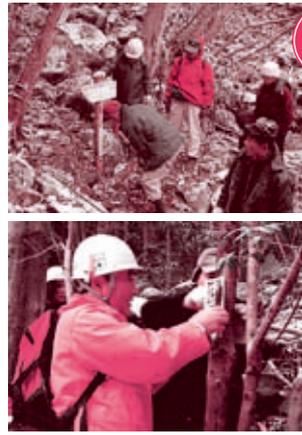
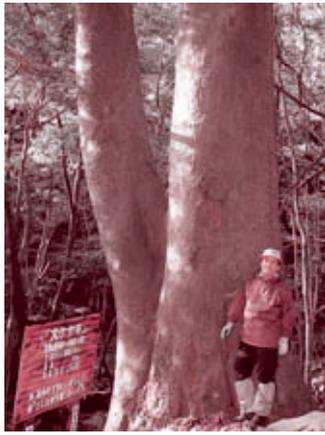
巨木に会いに行きませんか  
▼黒木溪谷〜岩屋の大ケヤキ

黒木町の国有林内に県内有数の「大ケヤキ」があります。この「大ケヤキ」は、幹周り5m、樹高28m、樹齢200年(推定)で、その雄大さと美しさに圧倒されます。

長崎森林管理署では、地元町内会や大村山岳会の協力で「黒木溪谷を見守る巨木に会いに行こう」をテーマに「大ケヤキ」までの登山道整備や森林管理署職員手作りの案内板・樹名板を設置しました。

皆さんも一度巨木に会いに出かけてみませんか。  
コース：黒木町岩屋観音(萱瀬ダム建設記念会館横)～岩屋越歩道入口～大ケヤキ(1km・片道徒歩30分)

■問い合わせ 長崎森林管理署 ☎416911



## OMURA CITY INFORMATION

12/26

新幹線を活かしたまちづくり懇話会から提言

# 市政のじぎょう

新大村駅(仮称)周辺整備のあり方や新幹線を活かした市勢の活性化を図るための具体策について、昨年6月発足以来これまで8回にわたり検討を重ねてきた「大村市の新幹線を活かしたまちづくり懇話会」(菊森敦文座長・委員34人)が、検討結果をまとめ市長に提言しました。

提言書では、

- ①新幹線開業を踏まえた大村のまちづくりに関する方向性 ○空港・高速・新幹線の3つの高速交通拠点を有する「地の利」を活かした定住人口および観光などの交流人口の増加に向けた取り組み ○新幹線・空港および中心市街地を結ぶ交通アクセス改善のための計画的道路整備 ○JR大村駅周辺の中心市街地と新大村駅(仮称)周辺のバランスのとれたまちづくり
- ②新幹線新大村駅(仮称)周辺整備の基本的考え方 ○駅前広場や新幹線高架下の利用方法や県立ろう学校敷地の今後の土地利用 ○在来線の乗り継ぎ駅や西側乗降口の必要性 ○駅名および大村らしい



駅舎のデザイン ○各交通施設間の円滑な移動・乗り換え可能な二次交通の整備 ○交通拠点施設として各種情報発信の中心的機能 ○大村市の新しい「玄関口・顔」として景観や環境に配慮した施設の整備

③新幹線を活用した市勢発展の方策 ○交流人口の増加に繋がる新たな観光資源の創出と既存の観光資源の見直し ○定住人口の増加に繋がる産業の育成や企業誘致 ○新大村駅(仮称)と新たな交通手段の導入や道路整備を含めた各交通拠点とのアクセス

市では、今年度策定予定の新幹線を活かしたまちづくりの「基本方針」並びに「基本構想」に反映していくことにしています。

1/7

『ミニボートピア長洲』行政協定調印式

大村競艇が熊本県長洲町に同県としては初の設置を計画している小規模場外発売場「ミニボートピア長洲」の開設に関する行政協定調印式が同町で行われました。

競艇企業局では、売り上げ向上の重点施策として場外発売場の設置に力を入れており、11月オープンを予定している同施設が完成すると、県内4か所、県外4か所の場外発売場を持つこととなります。



調印後握手を交わす松本市長と橋本孝明長洲町長